

新年あけましておめでとうございます



平成29年の新年を迎え、はやくも10日が過ぎようとしています。学生諸君にとって新年というのは、後期試験の直前で、卒論も追い込みの真ただ中、のんびりかた遊びをしたり、旅行をしたりする時間はなかなか取れないときに当たります。私の学生時代は、年初めの授業は1月10日過ぎからおもむろに始まりました。年末も、12月20日頃から冬休みでしたから、のんびりしたものでした。

一方で、ヨーロッパなどのキリスト教の国々では、クリスマス休暇は長い代わりに、1月は2日から社会は通常期に戻ります。そもそも、4月と3月という年度の切れ目や、複雑怪奇な入試制度を許したまま、祝日の多い日本で、半期15日の

第41号
2017年
1月10日発行

2017年1月10日号
甲南大学知能情報学部田中研究室 毎月発行
http://carnation.is.konan-u.ac.jp
編集長・岡田 航大 (M1)
編集委員・橋本 渉 (B4)

めには、何かしたいという気持ちになります。私が若いころからあこがれていたのは、英語以外の外国語でペラペラしゃべれるようになりたいということでした。残念ながら、フランス語、ドイツ語、中国語、いずれも中途半端で、少しし

かわかりませんが、年齢を考えるとあまり魅力的なテーマでもなくなっています。訳あって、気象予報士になりたいと思っています。これは、2〜3年後までの私のもっとも具体的な目標というところですか。もう一段先の夢は、自分の発明・開

発したものでベンチャーをしたいということですか。昨年と同じことを思っています。ですが、少しだけ近づいたような気がします。今年ももっと頑張りたいと思います。若い皆さんも、目標を設定して、頑張ってください。(田中雅博)

SI2016札幌にて開催

当研究室からは田中教授と院生二人が参加

計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会というのが正式名称のSI2016が今年は札幌で開催された。直前に降った雪は札幌でも歴史的な積雪ということで、まるでスキー場のような光景だった。マイナス5度以下の寒さの世界というのはあまり経験しない温度だったが、一番困ったのは、歩くのに、道路が滑って困ったことだった。どんなにゆっくり慎重に歩いても、滑るときは滑る。5回ほど滑り、そのうち2回は手をついた。荷物やリュックサック1つにしていたのは正解だった。写真は会場付近の雪景色である。

当研究室からは、私と院生2名が研究発表を行った。今回は、私はラジオ体操探点システムから始まった、動的な運動の評価システムに関する発表、須谷君はその静的姿勢版、岡田君は図書館案内ロボットの認識機能に関する発表を発表した。須谷君と岡田君も記事を書いてくれるはずなので、ここでは私の発表を中心に話をしよう。

行動特性の計測と支援という、最終日の最後のセッションだった。学会に行くことがある人(いや、「学会に行ったら、最後のセッションまで出る人」というベキカ)はよく知っているだろうが、最終日の最後のセッションは聴講者が少ない。今回は、開催地が札幌で、本州や九州などに帰る人が乗る飛行機の出発は18時台が多い。会場のところから空港まで1時間ほどかかるし、どんなに遅くとも30〜40分前には空港に着いておかないと不安なので、必然的に16時には遅くとも会場を後にしなければ間に合わない可能性がある。私のセッションでも、その影響がもたられた。私のセッションは15時半から17時だったので、私の講演のときはまだ人が比較的多かったのだが、時間がたつにつれ、どんどん人が少なくなっていた。もっと時間帯がよかつたら、聞いてくれた人も多かつただろうと悔やまれる。私の発表に関する質問としては、模範体操との時間的ずれに対する評価をしたのだが、



発したものでベンチャーをしたいということですか。昨年と同じことを思っています。ですが、少しだけ近づいたような気がします。今年ももっと頑張りたいと思います。若い皆さんも、目標を設定して、頑張ってください。(田中雅博)

岡田航大

12月15日から17日にかけて、北海道の札幌コンベンションセンターにて行われた、SI2016に参加させて頂いた。出発の日にはTAMもあつたので、まず登校し、TAMが終わった後に神戸空港に移動して、神戸を出発した。乗った回数は結構多いのだが、飛行機に一人で乗るのは初めてで、手順が合っていないのは最後まで不安であったが、幸い手続きなどで間違えることはなかった。飛行機は隣に人がおらず、かなり空席が目立っており、ゆったりと過ごすことができた。飛行機のサービスドリンクで飲んだじやがバッテリーがかなり美味かった。しかし、飛行機が降下体制に入ったあたりで急に身体に異変があり、これまでの経験したことがないくらい頭の痛みが襲われ、着陸してからもしばらく頭痛が痛かった。原因はわからないが、なかなか経験したくないものである。

到着の日には19時30分過ぎあたりにホテルにチェックインした。そのあとせっかくなので北海道なのでラーメンを食べに行った。ホテルのレストランで食べることも検討したが、最低予算が3000円ほどと記載されていたので、諦めてJRタワーの地下へとラーメンを求めて、足を運んだ。

次の日は須谷さんの発表があつたので、会場へと足を運んだ。須谷さんの発表やその他の発表、企業の展示などを見た後は田中先生と須谷さんと晩御飯を食べる時間までがそれなりに時間があつたので、北海道観光をした。ただ、札幌あたりは4回目なので、主要なスポットは一回は行ってしまった。なので、今回は大丸百貨店とか、ヨドバシカメラだとか、観光地ではないお店などをぶらぶらした。それでもそれなりに時間が余つたので、気の向くままに適当に1時間ほどぶらぶらしていた。田中先生、須谷さんと晩御飯を一緒にし、いろいろな話を聞け、大変充実していた1日だったが、その次の日の発表のことを思うと、正直少し緊張していた。

発表の当日は、朝の一番目のセッションの1番手で、9時30分からスタートする。逆算すると8時頃にはホテルを出る必要がある。支度や発表資料の見直し・最終練習をする時間などを含めて5時30分に目覚ましをかけた。だが実際に起きたのは5時で、そこから二度寝などもできず、割と悪いコンディションで発表に臨むこととなった。今回の発表題目は「コミュニケーションシロロボットにおける個人認証システム」であり、主にディープラーニングを用いて男女推定を行った部分までとなる。論文に沿った形で発表資料作成したため、当時は何も考えずにとりあえず使えることだけに重点を置いた部分もあり(ストライドやウインドウサイズのこと)正直、そのあたりの質問が来ないか構えてはいた。今回の発表のセッションは比較的好意的に受け止めてくれる人が多かつた印象で、最後には「今後どう進むか次第でとても良い研究になる」とのコメントまでいただくことができた。登壇での発表も、学会や卒論などで経験を重ねると慣れると思う。もちろん反省する点が多いので、今後どうやって研究を頑張るかという指針を考え直すきっかけとなる質問などもして頂き、大変感謝している。とりあえずの目的はある程度達成でき、個人的には65点くらいは与えてもよいとは思っている。普段結構辛口(後輩談)な岡田にしては高点数である。



自身の発表を終えてからはRTミドルウェアに関するセッションを聞いていた。ここでは、RTミドルウェアを講義に使ったりした実用例の報告などがあつた。ここで考えたのが、私がこの間までTAMで指導していた3年生ゼミのRTミドルウェアの講習のことだ。どうせなら「マインドストーム」を用いればよかったと思う。こんなところに書いてしまうと、来年度にやることになるかもしれないので、あまり深くは掘り下げないでおく。とにかく、RTミドルウェアに対する熱意がまた一段と高くなった。メールのやり取りを少しさせて頂いている産総研の方にもご挨拶ができて、大変満足したセッションであった。先生の発表は聞いて帰ったので、今回の飛行機の時間の関係で断念し、そのあとは新千歳に向かった。

今回の学会を終えて、また一つ自分自身が成長できると感じられた。この今の高いモチベーションを保つため、次の対外予定に決まった鹿児島大学との共同研究会に向けて、頑張っていくと思う。(岡田航大)

研究室で忘年会開催

12月22日に田中研究室の忘年会を開催しました。場所は阪急岡本駅から歩いてすぐのところにある「とつあん」という居酒屋で行いました。このお店は岡本以外にも多くの店舗があるチェーン店なのですが、とにかく海鮮料理が楽しめる居酒屋です。夏に一度、田中研究室の歓迎会でこのお店を利用したことがあったのですが、その時は天ぷらが食べ放題のコースだったので、ほとんど天ぷらしか食べませんでした。今回は他の海鮮料理も食べたいと思ったので、またこのお店にすることに決めました。参加人数は13名で、3回生



は全員参加してくれました。さすがに3回生全員と話をすることはできませんでしたが、3回生の新たな一面を知ることができました。初めて話す人が多かったのも、いろいろな面白い話を聞くことができた。3回生だけではなく、田中先生や院生の方とも普段ではあまり聞くことができない話をたくさん聞かせていただきました。それぞれの学生に対する印象や、過去の研究室に関する話など、印象深い話題ばかりでした。やはりお酒が入ると、様々な話題について本音で話をされるので、とても楽しかったです。お酒に関しては、自分自身なるべく控えるようにしていました。というのも、前回の歓迎会では幹事であるにもかかわらず、少し飲みすぎて酔いが回ってしまい、今回はそうだったのではないように意識しました。自分だけでなく、他の人もそれぞれ楽しんでいってほしいので、とても有意義な忘年会だったと思います。(金澤陽介)

2016年のKoroを振り返り

2016年は世間一般では様々な出来事があり、目立つところではアメリカの大統領選に共和党のトランプ氏が当選したり、パナマ文書たるものが公開されたり、国際的に大きい事件から、国内に目を向ければ、東京都知事選があったり、熊本自身があたり、国民的アイドルであるSMAPが解散したりとジャンルを問わず書けばキリがないほど様々なことが起きた。一方で当研究室で研究・開発を続けているコミュニケーション

ロボットKoroにも様々なことが起きていた。今回は2016年のKoroについて、記事にしようと思う。

まず、Koroを甲南大学の図書館に常駐し始めたのは2015年の暮れの出発だが、その開発メンバーが卒業を終え、院進学をした私とM2に後継した須谷さん以外のメンバーは一新され、引継ぎは行ったものの、実際にプログラムを組んだわけではないので、屋外のシステムはノウハウ



新システム(下)と旧システム(上)

の部分をやっていった身としては、実験のたびに何かしらケープルの指し忘れが起きていたり、設定が変わっていたりと、正直同じパソコンで開発するのは得策ではないというのを感じてきた。プログラム自体はというと、上手くいったかどうかは人それぞれ評価が分かれると思うが、利用してくれた人からの評価は高かったのではないだろうか。

新年度が始まり、本格的に現在の4回生が研究内容を固め、各々どういうことをするかを決める時期には、RTShellを用いた自動起動に成功していたので、そのころには朝動いていないということがむしろイレギュラーで、そういうことは減多になかった。そもそも自動起動が失敗する原因は外した配線をつけ忘れたりとか、ネットワークを切ったままだったとかそれくらいだった。

現在の4回生が開発を始めたころは、M2の須谷さんがプロジェクトリーダーをしており、2015年と同様にオープンキャンパスに向けた準備が進められ、図書館内はKinectでの制御からLeapmotionでの制御に、屋外はキャンパスツアーを行うことを目標にしていた。結果から言えば、夏のオープンキャンパスは両者共に惨敗で、旧システムを動かすことになった。当時は30点と言った気もするが、結果だけ見れば0点であることは4回生が一番痛感したこと



新システム(下)と旧システム(上)

だと思ふ。その悔しさもあつてか、秋のオープンキャンパスまでは、屋外から実験をしたときは、屋内組は一応は見せられる状態になっていた。屋外はというと、前日にパンクが判明し、見せられる状態ではなかった。仕方がないことだが気の毒だとは思ふ。

このころ、プロジェクトリーダーが須谷さんから4回生の島津くんになり、開発をしながらまとめをやらなくてはいけなくなると、夏時期だったかと思ふ。夏のオープンキャンパスの悔しさもあつてか、秋のオープンキャンパスまで頑張っていたとは思ふ。しかし、いざ秋のオープンキャンパスが始まってみると、何やら1時間ほど何も動かない

とは到底思っていなかった。このダメージは大きいものであった。結局パワーポイントの表示がおかしいという問題に関しては、これといった解決策が見当たらず、色々と頭を悩ませながら試行錯誤したものの成功せず、パソコンの2台化というところで決着しようとしている。

さて、2017年Koroは一体どういう進化をするのかについてだが、今決まっていることは、Koroに人工知能を載せようというところ、この部分は院生の私が担当している。他にも現在の3回生の何名かはKoroに配属されることになると思う。その中で新システムも開発されるはずであり、思いもよらない機能が追加されるかもしれない。不安と期待がこれほどまでに混じるか、と開発メンバーで一人残る私なんかは思っている。2017年もKoroをどんどん進化させていこうと思う。(岡田航大)

私のアルバイト史

第2回

前回、ショップでの1回生2回生の前期までのことを記事にしたが、今回は同時期のサポートのことを記事にする。

サポートでは1回生のはじめから働いていたわけではなく、知能情報学部というところがサポートのパートナーにも知られ、その時に人材不足だったので、途中から参加することになった。主な仕事は「製品調査」で、先生から送られてくるメールの製品が「どういうもの」「値段がいくらか」などを調査する。今でこそメールだけで受注表を起

すことができたり、発注までやってもよいと任されているが、当時は本当に「どういうもの」「値段がいくらか」を調べるだけであつた。ただそれでも、例えば無線ルータの設置であったり、プリンターの設定である。一言でいえば簡単な作業だが、学内のネットワークは多少複雑なので、無線ルータを刺しただけでは使えない(もちろん家庭でもいろいろ設定は必要ない場合が多い)まずWANとLANのことを覚えてたり、設定画面について覚えたりする作業が必要だ。プリンターはディスクもしく

はインターネットからドライブをインストールする必要がある。もし先生のパソコンがネットに繋がっていない、ディスクを読み取れないなどの場合に備えて、研究室に向かう直前にUSBにドライブを落としてきている。慣れてきたあたりには、無線のマウスや無線製品を使っている先生には一度、無線でのプリンター接続を提案することにした。これがどうやら良い着眼点だったようで、何人かの先生からぜひ次もお願いしたいと指名を受けることになった。実はこの頃はまだ甲南に在籍していて、定年で退官された先生には今でもお世話になることもあり、自宅まで行ってのサポートを行ったりすることもあった。

他にも新入生パソコン選定のため某PC会社の工場を見に島根に行ったり、サポートでは非常に多種多様な仕事を受けさせていた。感謝してもしきれないほどの経験である。しかし、ショップも同様でサポートも3回生になったあたりからほとんどでもないほど忙しい時期があったが、それはまた次回以降に述べようかと思う。今回はファミリーマートが入ったからのショップのことを述べていこうと思う。個人的には思い出すだけで辛い期間である。(岡田航大)

今年目標は、就職活動も始まり、研究も佳境の時期に入ることになります。ですので、今年「折れない」ことを目標にしようかと思っています。何事にも折れない気持ちで頑張るって成し遂げようと思います。言うのは簡単ですが、

対外予定にも書いてありますが、3月に鹿児島大学で研究会を行うことになり、それに参加させていた

1月16日 田中教授、NHK放送技術研究所を訪問、カメラの姿勢推定手法についてディスカッション

1月22日〜2月20日 グランフロントで、田中教授の来場者カウンタを設置、実使用

2月23日〜24日 ゼミ旅行(金沢)

2月28日〜3月4日 田中教授、NCSP(ゲーム)で体操評

研究室対外予定

1月16日 田中教授、NHK放送技術研究所を訪問、カメラの姿勢推定手法についてディスカッション

1月22日〜2月20日 グランフロントで、田中教授の来場者カウンタを設置、実使用

2月23日〜24日 ゼミ旅行(金沢)

2月28日〜3月4日 田中教授、NCSP(ゲーム)で体操評

価支援基盤システムの論文発表

3月8日 女子栄養大学金子教授が、田中教授の体操支援システムの見学にご来校

3月17日〜18日 鹿児島大学で開催の、甲南・鹿児島コンピュータビジョン研究会に田中教授と岡田君が参加、発表

編集後記

皆さま、明けましておめでとございます。2017年も田中研新聞をよろしくお祈り致します。

年明け早々頭痛に襲われ、冬休み後半をほぼ寝て過ごす羽目になり、これが本当の寝正月か、と頭の中で思っていたら正月が終わっていました。

ただ年末は非常に充実しており、Pythonの勉強から論文に目を通すことまで、日頃なかなか手がつけられないことができました。お前は遊ばなかったのかい、と言われるかもしれませんが、年末年始は初詣と祖父母の家に行った以外はほとんど家を出ていません。

今年目標は、就職活動も始まり、研究も佳境の時期に入ることになります。ですので、今年「折れない」ことを目標にしようかと思っています。何事にも折れない気持ちで頑張るって成し遂げようと思います。言うのは簡単ですが、

対外予定にも書いてありますが、3月に鹿児島大学で研究会を行うことになり、それに参加させていた

1月16日 田中教授、NHK放送技術研究所を訪問、カメラの姿勢推定手法についてディスカッション

1月22日〜2月20日 グランフロントで、田中教授の来場者カウンタを設置、実使用

2月23日〜24日 ゼミ旅行(金沢)

2月28日〜3月4日 田中教授、NCSP(ゲーム)で体操評

1月16日 田中教授、NHK放送技術研究所を訪問、カメラの姿勢推定手法についてディスカッション

1月22日〜2月20日 グランフロントで、田中教授の来場者カウンタを設置、実使用

2月23日〜24日 ゼミ旅行(金沢)

2月28日〜3月4日 田中教授、NCSP(ゲーム)で体操評